

心の栄養剤No125 【夢を実現する】

ある小学6年生の作文がある。

僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。
そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。

活躍できるようになるためには練習が必要です。
僕は3歳の時から練習を始めています。

3歳から7歳までは、半年くらいやっていましたが、3年生の時から
今までは、365日中360日は激しい練習をやっています。
だから、1週間中で友達と遊べる時間は5、6時間です。

そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると
思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西部ライオンズです。

ドラフト入団で契約金は1億円以上が目標です。
僕が自信のあるのは投手か打撃です。

去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そして、ほとんどの投手を
見てきましたが、自分が大会ナンバーワン選手と確信でき、打撃では
県大会4試合のうちホームラン3本を打ちました。

そして、全体を通した打率は5割8分3厘でした。

このように自分でも納得のいく成績でした。そして、僕たちは1年間
負け知らずで野球ができました。だから、この調子でこれからもがんば
ります。

そして、僕が一流の選手になって、試合に出られるようになったら
お世話になった人に招待券を配って、応援してもらうのも夢の一つ
です。

とにかく一番大きな夢は、野球選手になることです。

作者は愛知県西春日井郡豊山小学校6年2組 鈴木一郎。

賢明な読者にはすでにおわかりだろう。

いまをときめく大リーガー、**イチローの子供時代の作文**である。

イチローの資質は特別、いわば天才という。その通りだろう。
しかし、この作文が夢を実現する上で大事なものは何かを語っている
ことも事実である。

まず、第一に自分の夢に対していささかも迷いが無い。
夢を素直に信じている。つまり夢に対して本気、本腰である。

次に、自らの夢に対して代償を進んで支払おうとする気持ちが強い。
365日中360日激しい練習。友達と遊ぶのは一週間で5、6時間
という。そう言い切る言葉に少しの悔いも未練もない。

「夢をみることは重荷を背負うことだ」と松下幸之助は言ったそうだが
そのことをすでに体得している感がある。

そして最後に、お世話になった人に対して報いるという報恩の心を持って
いる。夢を持ち、その夢を実現すべく燃えることができるのは、全生物の
中でも人間だけである。**天から授かったこの能力をフルに発揮する人生を
送りたいものである。**

新年を迎え、「**さあ！！今年こそは！！**」という正月に“志”を持って夢～目標
に向かうモチベーションを高めれるよう、小学生イチロー君の作文を載せさせて頂きま
した!!

どんな事に対しても「夢」を持って、なりたい自分～達成するイメージを明確にする事は
パワー(力)になると思います。

**(体質改善、病氣克服などに対しても、改善～克服した元気と笑顔のイメージを持つ事が大
切になります！！)**

鈴木一郎君に負けないイメージを持って、一年のスタートを切れるよう頑張りましょう!!

皆様の新しい年が**元気いっぱい～笑顔いっぱい**の充実した素晴らしい
一年になられますよう心より願い祈っております!!



本年も「くすりのキュート」共々「心の栄養剤」もどうぞ宜しくお願い致します！！